

身体疾患患者さんに対する 心理的支援の実際

講師

北海道医療大学心理科学部 助教

臨床心理士 認定行動療法士 関口 真有 先生

身体疾患（糖尿病、心不全、がん、など）を抱える患者さんの多くは、疾患がありながらも、その人らしい生活を送りQOLを維持していくためには、疾患管理（自己管理行動）を行うことが非常に重要になってきます。また、うつや不安などを合併するケースも少なくありません。しかし、身体疾患患者さんに、心理士がチームの一員としてどのように関与しているのか、あまり馴染みがないかもしれません。

今回は、認知行動的アプローチを中心とした支援方法、これまでの臨床現場でのチームアプローチの実際などをご紹介できればと考えております。また、事例を交えながら、皆さんと一緒に、身体疾患患者さんへの支援について考え、少しでも日々の臨床に活かせる機会となればと思っております。

日時

2018年 7月 8日 (日) 13:00~16:30(受付12:30-)

会場

札幌なかまの杜クリニック 3階デイケア室

〒064-0822 札幌市中央区北2条西20丁目1-28報恩ビル

参加費

3,000円

定員

30名

申し込み

メール件名に「身体疾患CBT」本文に氏名、所属、連絡先、職種を明記の上で、murakami58@gmail.com まで連絡をお願いします(担当村上)。定員に達した場合、参加できない場合がございます。